

# にんげんごっこ

木村裕一・作 長新太・絵





にんげんごっこ

N.D.C.913 32p 24cm

定価はカバーに表示してあります。

1997年4月20日 第1刷発行

発行者 野間佐和子

印刷所 日本写真印刷株式会社

1997年11月5日 第2刷発行

発行所 株式会社 講談社

製本所 大村製本株式会社

東京都文京区音羽2-12-21 〒112-01

作・<sup>みむらゆういち</sup>木村裕一 絵・<sup>ちゅう しんた</sup>長 新太

電話(編集) 03-5395-3534 (販売) 03-5395-3625 (製作) 03-5395-3615

落丁本・乱丁本は、小社書籍製作部あてにお送りください。送料小社負担にておとりかえいたします。

なお、この本についてのお問い合わせは児童局幼児図書出版部あてにお願いいたします。

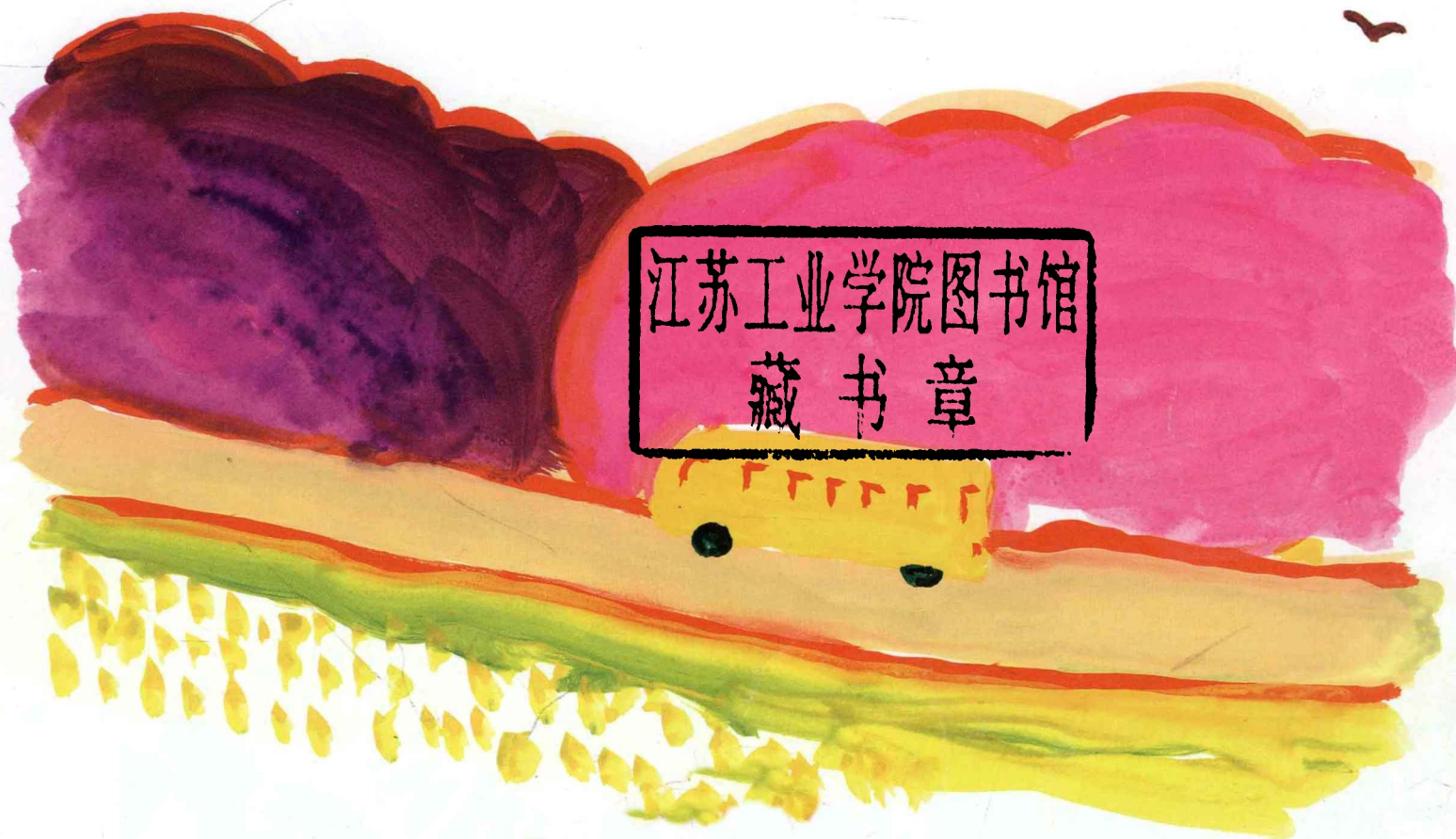
本書の無断複写(コピー)は著作権法上での例外を除き、禁じられています。

ISBN4-06-132225-7 (児幼)

©Yūichi Kimura Shinta Chō 1997 Printed in Japan

# にんげんごっこ

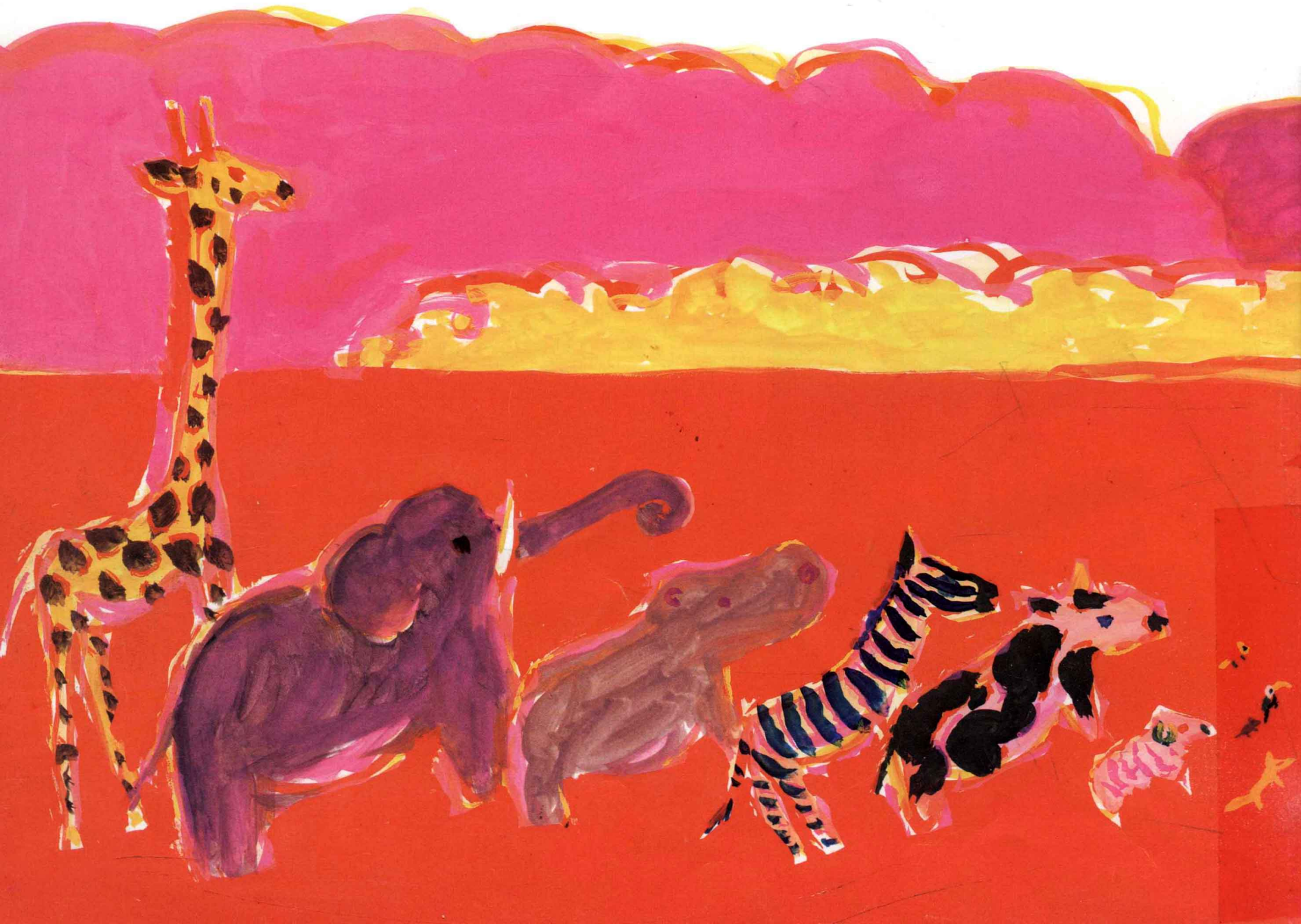
木村裕一・作 長新太・絵



江苏工业学院图书馆  
藏书章

講談社

もりの ちかくに バスとか いう ものが  
はしるようになって、どうぶつたちは おおさわぎだ。  
「あの バスって、にんげんの まちから くるらしいね。」  
「いったい どんな ところだろう。」







そこへ ふらりと やって きたのが、  
のらねこの のらだ。

「なに、にんげんの まちが どんな ところかって？」  
のらは にやりと わらうと、とくいそうに  
じまんの ひげを ぴんと のばしたよ。

「ま、そう いう ことは、みんな ぼくに  
ききたまえ。なにしろ ぼくは、にんげんと  
くらした ことだって あるんだぜえ。」

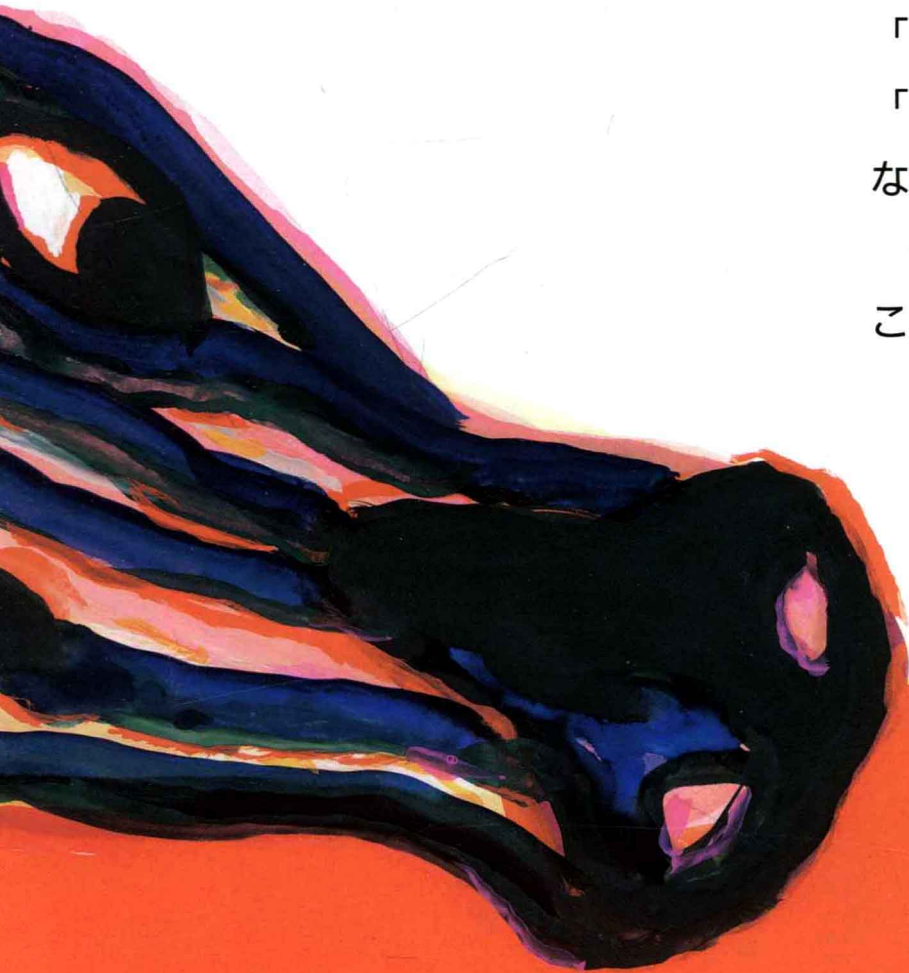
「ええっ、それは すごいや。」







みんなは、目を かがやかせた。  
「まちには、おおきな いえが あって、  
じどうしゃが はしって いてね。」  
のらが とくいになって はなしを はじめたけど、  
「いえって ぞうくんより おおきいの？」  
「じどうしゃは きりんくんより はやい？」  
なんて、みんな まるで わかって くない。  
そこで のらは、ポンッと 手を たたくと、  
こんな ことを いいだした。





「そうだ！これから みんなで  
にんげんごっこを しようよ。そうすれば、  
にんげんの ようすが ようく わかるだろ。」

「ええっ、にんげんごっこだって。」

「わあ、おもしろそう！」

みんな おおよろこびだ。

「まちには、おうだんほどうと いうのが  
あってね。にんげんの こどもは、みんな  
そこを わたって、がっこうに いくんだ。」



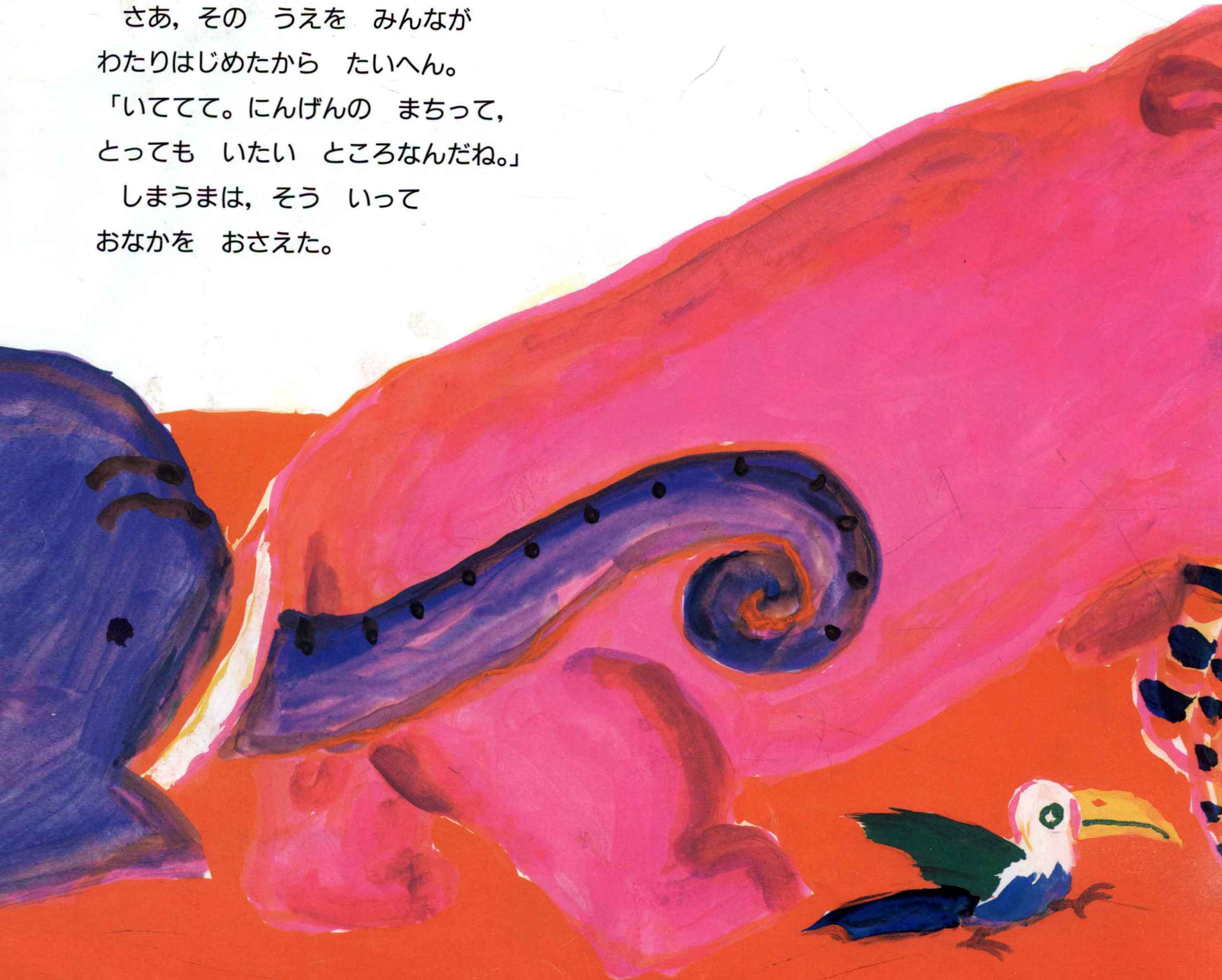
のらは、さっそく はじめたよ。

「じゃ、まず しまうまくん、ちょっと そこに  
ねて、おうだんほどうに なって くれる？」

さあ、その うえを みんなが  
わたりはじめたから たいへん。

「いててて。にんげんの まちって、  
とっても いたい ところなんだね。」

しまうまは、そう いて  
おなかを おさえた。





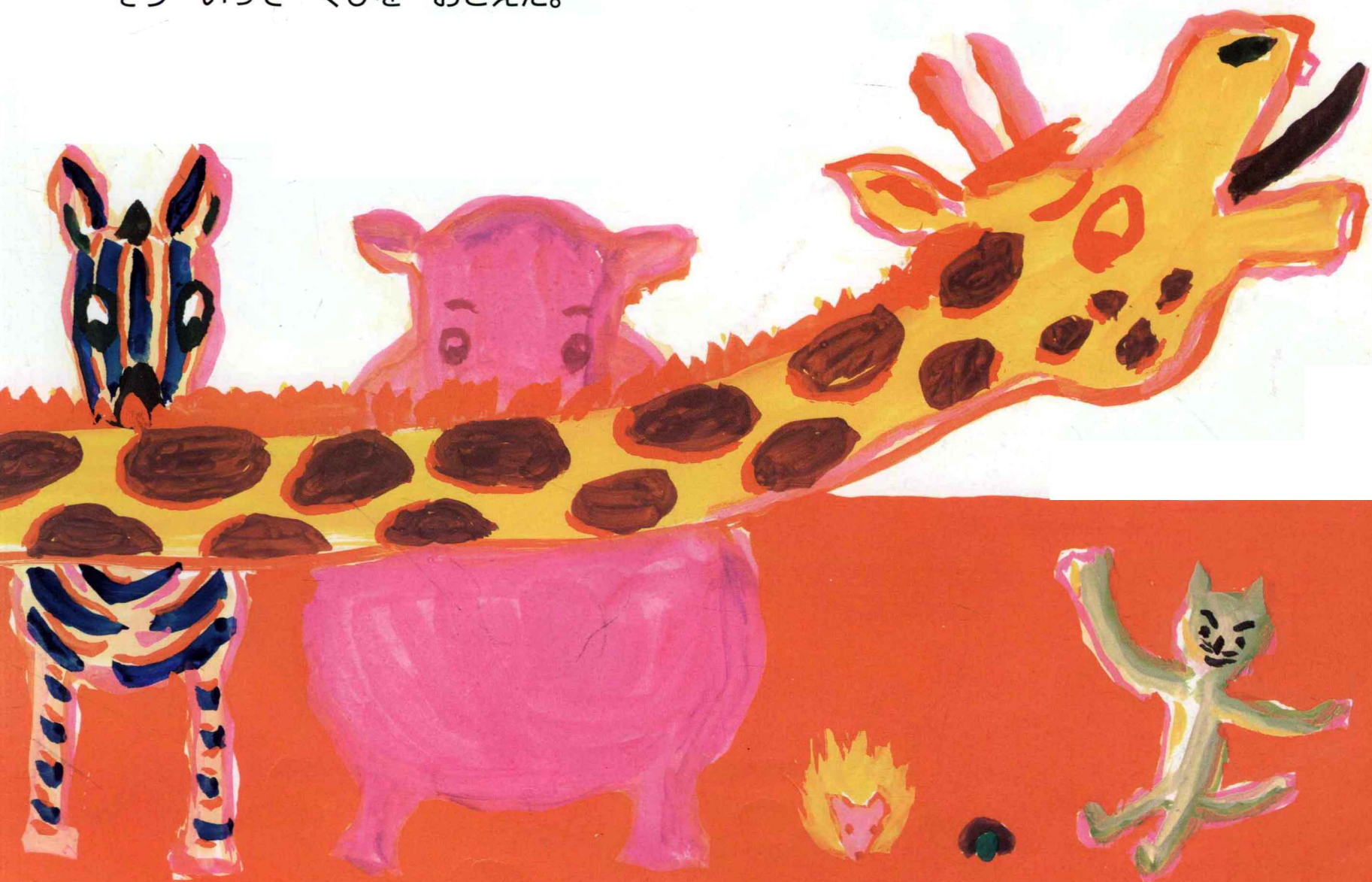


「つぎは ふみきりだ。きりんくん、くびを よこに して、  
じいっと してて くれる？ でんしゃが とおるまで、  
にんげんは そこで じいっと まってるんだ。はい、  
くびを あげて、みんなが わたったら はい、さげて……。」

きりんは おもわず、

「ふうっ、にんげんの まちって、くびの つかれる ところなんだね。」

そう いうて くびを おさえた。



「さて、こどもが がっこうに つくと、  
せんせいが べんきょうを おしえて  
くれるんだ。うしくん、ちょっと ちずに  
なって くれる？ はい、ここが <sup>にっぽん</sup>日本で、  
こっちが アメリカ……。」





のらに ゆびで つんつんと  
つかれて、うしは たまらず、  
「くくく、にんげんの まちって  
くすぐったい ところなんだね。」  
って からだを よじらせた。

